すべての人たちが心の中にある
好奇心と情熱に導かれるままに、
最大限に自分らしい可能性を
開花させて生きられる世界を創りたい。
誰もが自分の存在を尊び、
人生の主人公として生きることに
喜びを感じる未来を切り拓きたい。
SPACEが叶えたいのはそんな未来の世界です。

SPACE
https://space-inc.jp

2014
ROCKET ⇒ 2020
SPACE

個別最適な学びを社会実装する

SPACE は 2020 年に創業した教育ベンチャーです。

前身は東京大学先端科学技術研究センターと日本財団が共同主催する「異才発掘プロジェクト ROCKET」という、不登校傾向の子どもたちを対象に、一人ひとり、異彩を放つ子ども達の才能を潰さず、社会に繋げるために始まった教育プロジェクトです。そこから生まれた学びの環境をヒントに、個別最適な学びの社会実装をミッションとして、ROCKET が飛び立つ深淵なる宇宙空間のネットワークを社会に広げるべく「SPACE」を設立しました。

一人ひとりの中から湧き起こる好奇心や情熱が生きていくことの原動力となり、学びや暮らしづくりの土台となることで、その人らしい個性や才能が開花する究極のパーソナライゼーションが起こることを信じています。

「私たちはなんのために学び、生きているのか。それぞれの違いを携えていかに幸福に共存できるのか。」

この大きな問いに向かうために、一生を通じて子ども達が向き合っていく「自分らしさ」と「自分らしい幸福」を発見していくための学びを、SPACE では提供していきます。

株式会社 SPACE 代表取締役　福本理恵

個別最適な学びがある世界を作るためにSPACEが大切にしている４つの事業

子ども達が一人ひとり違うということを私たちは知っています。しかし、それがどのように違うのかを理解し、その人らしさに寄り添い、個々の中にある才能や好奇心を引き出しサポートすることは簡単ではありません。SPACE は、ROCKET で培った経験や知識から、子ども達の個別最適な学びを育むために大切にすべき点を整理し、現在４つの事業を立ち上げています。

1

個別最適な学びを育むアセスメント事業

子ども達が自分自身を知ることのきっかけとなるツールとして、「spaceQ」というアセスメントと自己理解を深掘りする「自分学」というワークをご提供しています。

2

探究心を育むコンテンツ制作事業

子ども達の中にある好奇心や情熱に火がともるような探究コンテンツを、特に文化･歴史･産業等に関わる地域固有の資源から製作し、お届けしています。

3

試行錯誤するためのサードプレイス事業

まち全体を学び場にするをコンセプトに、多様な背景を持つ子ども達が家、学校以外に学べる第三の学び場を、地域「ヒト、モノ、コト」の資源をフル活用しながら作っています。

4

SPACEの叡智を共有するコンサルテーション事業

自分らしさの発見や自己実現につながる学びの構築に関するナレッジを、研修や組織の立上げの伴走支援を通じてご提供しています。

SPACEの事業沿革

2020 年の創業以来、個別最適な学びを進めるための４つの事業を展開してきました。主に国や自治体の実証事業を通して、既存の教育の枠組みにはない「あったらいいな」を実現するための先進モデルを創出し、社会に実現していく取り組みを進めています。

SPACE 誕生

アセスメント事業

- 2020 Google「spaceQ」開発実証
- 2021 経済産業省「spaceQ」活用実証
- 2022 文部科学省「spaceQ &自分学」データ利活用推進
- 2024 長野県「spaceQ &自分学」導入実証

サードプレイス事業

- 2022 経済産業省「GOD HANDS プロジェクト」始動
- 2023 京都市「GOD HANDS プロジェクト」始動

コンテンツ事業

- 2020 環境省「宝島キッズラーニングプロジェクト」開発
- 2021 鎌倉市「かまくら ULTLA」始動
- 2021 経済産業省「STEAM CHAOS」開発
- 2022 経済産業省「STEAM CHAOS 学校導入」実証
- 2023 名古屋市「なごや ULTLA プログラム」始動
- 2024 日野市多摩市「ひのたま ULTLA」始動
- 2024 奈良県庁 保育関係者向けワークブック&映像「ひとたね」制作

コンサルティング事業

- 2020 ロートこども未来財団 立ち上げ
- 2024 鎌倉市「学びの多様化学校」設置支援

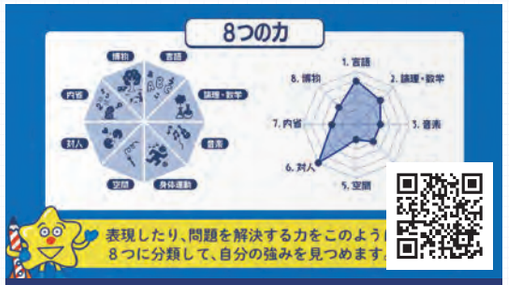


学びを社会実装したプロジェクト事例

アセスメントの事例

認知的個性の見える化から自己理解を促進するアセスメントツール「spaceQ」と「自分学」

「spaceQ」は学習者自らが自分の認知特性に気づいたり、個々の才能や学び方のクセを把握するために役立つアセスメントツールです。「自分学」ワークを通じて自分の価値観や興味関心を見つめることで、自己理解を深めるサポートに活用ください。「spaceQ」や「自分学」を導入することで、教員が児童生徒一人ひとりに合わせた環境づくりや、多様な学び方を支援しやすくなるという声を頂いています。



動画でわかるアセスメント▲



事業報告書▲

関連事業	文部科学省：次世代の学校・教育現場を見据えた先端技術・教育データの利活用推進事業（令和４年度～）
連携パートナー	神奈川県鎌倉市内公立中学校・長野県公立中学校・広尾学園
URL	-



コンテンツ制作の事例 1

地域の文化・産業をテーマにした探究コンテンツ「STEAM CHAOS」

地域の文化・風土をテーマにした映像から学べる探究コンテンツや、その付属教材をニーズに合わせて制作します。事例で挙げている実証事業では、９つの地域とテーマを題材にした動画コンテンツ「STEAM CHAOS」を制作し、その教材を学校の探究授業でも活用できるできるように５地域で授業づくりのサポートを行いました。

STEAM CHAOS

「STEAM ライブラリー」の WEB サイト▲

関連事業	経済産業省：「未来の教室」STEAM ライブラリー活用事業創出実証事業（令和４年度）
連携パートナー	TOPPAN 株式会社・太陽工業株式会社・三宅島観光協会・蟹江町・鎌倉市・姫路市・雲南市・奥出雲市・奥出雲町・水俣市
URL	https://www.steam-library.go.jp



コンテンツ制作の事例 2

日々の保育実践を考える「奈良っ子はぐくみワークブック『ひとたね』」

保育の実践に役立つ保育者向け冊子として、「奈良っ子はぐくみワークブック『ひとたね』」を制作。保育施設へのヒアリングやワークショップと通して、現場の声に即したこれからの保育に必要なマインドセット、フレームワーク、実践事例、アプローチ方法、ワークシートを一冊にまとめ、「自然保育」「食育」「芸術」の３つのテーマを軸に、保育者自身が保育の世界を創造する当事者として日々の実践で活用できるように作成しました。研修の教本としても活用頂けます。



ワークブック「ひとたね」の PDF ▲

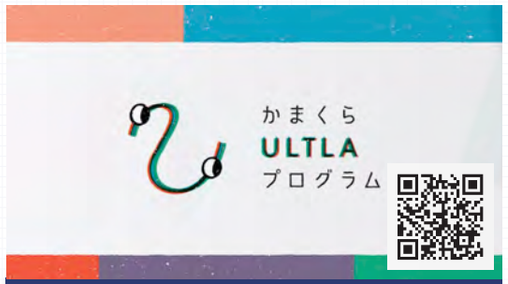
関連事業	芸術・自然保育・食育を活用した就学前の子どものはぐくみ推進事業（令和５年度）
連携パートナー	TOPPAN 株式会社
URL	https://www.pref.nara.jp/65657.htm



サードプレイスの事例 1

地域資源を活用した学び場で個性や特性に応じて自分らしく学べる「ULTLA プログラム」

地域特有の「ヒト、モノ、コト」の資源をフル活用した探究的なプログラムを通して、個々に適した自分らしい学び方を見つけていくプログラムです。「ULTLA プログラム」のエッセンスを学び、地域において子どもたちに関わる人たち（教員 / 地域の教育・福祉活動をする NPO / 地域の専門分野をもつ大人たち）が学び合う「リサーチラボ」も展開しており、地域内で「まちが多様な子どもたちの学び場になる」ように実現していっています。



「かまくら ULTLA」ダイジェスト動画▲



「かまくら ULTLA」事業報告書▲

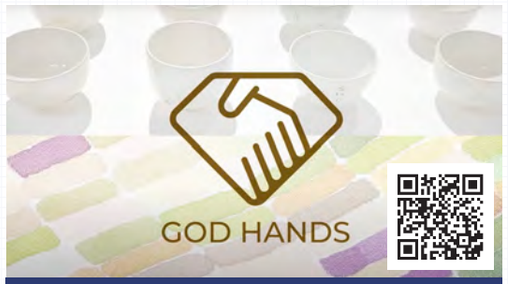
関連事業	文部科学省：特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業（令和 4 年度～）
連携パートナー	鎌倉市教育委員会 ※名古屋市教育委員会との「なごや ULTLA」、日野市多摩市との「ひのたま ULTLA」も実施
URL	https://ultla.jp



サードプレイスの事例 2

学習機会の創出と多様な進路のソリューションを提供する God Hands プロジェクト

アートやクラフトに興味がある児童生徒を対象とした、ものづくりから学ぶプログラムです。ものづくりのエキスパート（ゴッドハンズ）からオンラインや対面でのレクチャーを受け、「心・頭・体」を使った実学的な学びを通して「守・破・離」のステップで自己変容、自己実現を促進していきます。伝統産業、伝統文化芸能を担う次世代が育つ土壌づくりを行っています。



「GOD HANDS」ダイジェスト動画▲



「GOD HANDS」WEB サイト▲

関連事業	文部科学省：特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業（令和 4 年度～）
連携パートナー	京都市教育委員会
URL	https://godhands.space

会社概要

会社名	株式会社 SPACE
設立	2020 年 8 月 20 日
本社	〒 155-0031 東京都世田谷区北沢 1-19-15-302
TEL	03-4455-9259
問合わせ先	info@space-inc.jp

主な取引先

中央省庁	経済産業省・文部科学省・環境省
自治体	鎌倉市・京都市・名古屋市・奈良県・長野県・日野市・多摩市・軽井沢市・大田市・雲南市・葉山町・蟹江町
大学	東京大学・鎌倉女子大学・国際基督教大学（ICU）
企業	株式会社 TOPPAN・株式会社 Gakken・ロート製薬株式会社・学校法人角川ドワンゴ学園・株式会社マクニカ・Google for Education・一般社団法人リリース・一般社団法人 エディブル・スクールヤード・ジャパン

子どもが 100 人いれば 100 通りの感じ方、学び方があります。その違いを認め合い、自分ができることを生かすことで、多様な才能を発揮できる教育が、今こそ必要です。子ども一人ひとりがありのままの自分を信じて、自分らしく生きてほしい。その願いを胸に、それぞれの「自分らしさ」を生かす学びの場を SPACE は作っていきます。